



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <https://www.rohto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-8223

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	61,171	17.1	11,292	36.1	12,242	26.9	9,090	30.0
2023年3月期第1四半期	52,255	23.5	8,296	37.7	9,649	47.6	6,991	47.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 13,729百万円(2.3%) 2023年3月期第1四半期 13,418百万円(86.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	39.85	39.73
2023年3月期第1四半期	30.65	30.56

(注1) 2023年3月期第2四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(注2) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	318,871	226,002	69.0
2023年3月期	309,677	215,078	67.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 219,915百万円 2023年3月期 209,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	12.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年1月1日に普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の第2四半期末は分割前、2023年3月期の期末は分割後の金額を記載しております。年間配当金については株式分割の実施により単純合計出来ないため表示しておりません。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	10.2	37,000	9.0	38,000	6.8	27,500	4.3	120.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	236,178,310株	2023年3月期	236,178,310株
2024年3月期1Q	8,039,389株	2023年3月期	8,039,356株
2024年3月期1Q	228,138,946株	2023年3月期1Q	228,139,656株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2023年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、行動制限も緩和され人流が増加し、経済活動に緩やかな回復の動きはみられたものの、資源価格の高騰や為替の影響、地政学的リスクの影響等から、先行き不透明なまま推移いたしました。個人消費につきましては、行動制限の緩和から消費の回復は見られたものの、光熱費の増加や原材料価格の上昇による商品の値上げ等により生活費の負担は増しており、節約志向は一段と高まりをみせております。

このような状況のもと、当社グループは世界の人々が身体も心もイキイキと様々なライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごせるよう「Connect for Well-being」のスローガンを掲げ、さらなる企業価値の向上を目指し「総合経営ビジョン2030」の実現に向けて取り組んでおります。

その結果、売上高は611億7千1百万円（前年同期比17.1%増）と大幅な増収となりました。国内におきましては、お客様のニーズに合った商品提案やインバウンド需要に回復の兆しが見られたことにより増収となりました。海外におきましても、原材料価格の高騰があったもののお客様のニーズに合った商品提案や円安の影響により増収となりました。

利益面につきましても、大幅な増収となったことに加え、原価率の改善や販売費及び一般管理費の効率的活用に向けた結果、営業利益は112億9千2百万円（同36.1%増）、経常利益は122億4千2百万円（同26.9%増）、親会社株主に帰属する四半期当期純利益につきましては、90億9千万円（同30.0%増）と全ての利益段階で大幅な増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### （日本）

外部顧客への売上高は、368億9千9百万円（前年同期比17.3%増）と大幅な増収となりました。

酵素洗顔が好調の「メラノCC」や「肌ラボ」、サプリメントの「ロートV5」が引き続き好調に推移いたしました。マスク着用習慣により落ち込んでいたリップクリームも回復し新型コロナウイルス感染症拡大前を上回りました。国内グループ会社におきましても、「ボラギノール®」を主力商品とする天藤製薬㈱も増収に寄与しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善により73億2千3百万円（同41.1%増）と大幅な増益となりました。

#### （アメリカ）

外部顧客への売上高は、42億3千4百万円（前年同期比12.1%増）と大幅な増収となりました。

医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社が引き続き好調に推移し、増収に大きく貢献しました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、大幅な増収と原価率の改善に加えて、販売費及び一般管理費の効率的活用により、3億1千9百万円（同135.7%増）と大幅な増益となりました。

#### （ヨーロッパ）

外部顧客への売上高は、34億7千万円（前年同期比12.6%増）と大幅な増収となりました。

主力の消炎鎮痛剤が引き続き好調に推移し増収に寄与しました。「Hadalabo Tokyo」も英国、東欧及び中東主要国で好調に推移しました。また、2021年5月にCEマークを取得し発売したドライアイ点眼剤である「ロート ドライエイド」により、目薬市場の開拓を引き続き進めており好調に推移しています。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、増収効果と販売費及び一般管理費の効率的活用により、5億2千8百万円（同66.8%増）と大幅な増益となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、158億9千万円（前年同期比18.6%増）と大幅な増収となりました。

香港、マレーシアが高成長を継続し、中国がコロナ禍から回復傾向となり売上を牽引しました。日やけ止め、リップクリーム、フケ抑制シャンプー「セルサン」、目薬、「50の恵」や「肌ラボ」が増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、28億5千7百万円（同5.0%増）と増益となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は3,188億7千1百万円となり、前連結会計年度末より91億9千3百万円増加いたしました。これは、投資有価証券が42億3千9百万円、流動資産のその他が31億6千5百万円、商品及び製品が26億8千万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が18億7千1百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は928億6千8百万円となり、前連結会計年度末より17億3千万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が41億5千4百万円増加した一方、流動負債のその他が27億1千3百万円、賞与引当金が15億2千8百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては2,260億2百万円となり、前連結会計年度末より109億2千3百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が62億8千4百万円、為替換算調整勘定が24億6千8百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

[2024年3月期 通期の連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	259,000	35,000	36,000	26,500	116.16
今回修正予想(B)	263,000	37,000	38,000	27,500	120.54
増減額(B-A)	4,000	2,000	2,000	1,000	—
増減率(%)	1.5	5.7	5.6	3.8	—

連結業績予想につきましては、当第1四半期の日本セグメントが好調に推移し、第2四半期以降も引き続き堅調に推移すると予想し、2023年5月12日に公表した連結業績予想を修正いたします。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全てが前回発表を上回り増収増益となる見込みです。なお、為替レートは引き続き1ドル130円としております。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	79,951	78,080
受取手形及び売掛金	39,686	39,455
電子記録債権	21,327	20,771
商品及び製品	22,451	25,131
仕掛品	3,407	4,277
原材料及び貯蔵品	15,204	17,146
その他	8,575	11,741
貸倒引当金	△357	△468
流動資産合計	190,246	196,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,626	29,899
その他（純額）	36,555	36,781
有形固定資産合計	66,182	66,681
無形固定資産		
のれん	2,564	2,468
その他	6,996	6,999
無形固定資産合計	9,561	9,467
投資その他の資産		
投資有価証券	33,637	37,876
その他	17,182	15,597
貸倒引当金	△7,132	△6,887
投資その他の資産合計	43,687	46,586
固定資産合計	119,431	122,735
資産合計	309,677	318,871

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,025	20,180
電子記録債務	2,693	3,521
短期借入金	4,177	4,163
未払費用	20,777	20,265
未払法人税等	5,048	3,847
賞与引当金	3,535	2,007
役員賞与引当金	50	12
その他	27,854	25,141
流動負債合計	80,162	79,138
固定負債		
長期借入金	7,516	6,943
退職給付に係る負債	3,104	3,166
債務保証損失引当金	42	47
その他	3,773	3,573
固定負債合計	14,436	13,730
負債合計	94,599	92,868
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,504	6,504
資本剰余金	5,292	5,292
利益剰余金	184,005	190,290
自己株式	△4,938	△4,938
株主資本合計	190,864	197,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,951	9,929
為替換算調整勘定	10,649	13,117
退職給付に係る調整累計額	△277	△280
その他の包括利益累計額合計	18,323	22,766
新株予約権	382	382
非支配株主持分	5,508	5,703
純資産合計	215,078	226,002
負債純資産合計	309,677	318,871

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	52,255	61,171
売上原価	22,659	25,399
売上総利益	29,595	35,772
販売費及び一般管理費	21,299	24,479
営業利益	8,296	11,292
営業外収益		
受取利息	253	316
受取配当金	255	257
持分法による投資利益	50	74
投資事業組合運用益	345	-
貸倒引当金戻入額	-	246
その他	548	307
営業外収益合計	1,453	1,202
営業外費用		
支払利息	57	46
貸倒引当金繰入額	9	-
投資事業組合運用損	-	77
その他	34	127
営業外費用合計	100	252
経常利益	9,649	12,242
税金等調整前四半期純利益	9,649	12,242
法人税等	2,587	2,990
四半期純利益	7,061	9,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	161
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,991	9,090



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,061	9,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	404	2,000
為替換算調整勘定	5,992	2,479
退職給付に係る調整額	△40	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	6,356	4,477
四半期包括利益	13,418	13,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,237	13,534
非支配株主に係る四半期包括利益	181	195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
顧客との契約から生じる収益	31,449	3,778	3,081	13,394	51,704	551	52,255	—	52,255
(1) 外部顧客への売上高	31,449	3,778	3,081	13,394	51,704	551	52,255	—	52,255
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	931	244	4	1,002	2,183	13	2,196	△2,196	—
計	32,381	4,022	3,086	14,396	53,887	564	54,452	△2,196	52,255
セグメント利益	5,188	135	316	2,720	8,361	50	8,412	△115	8,296

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額△115百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高 顧客との契約から生じる収益	36,899	4,234	3,470	15,890	60,495	676	61,171	—	61,171
(1) 外部顧客への売上高	36,899	4,234	3,470	15,890	60,495	676	61,171	—	61,171
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	775	411	29	1,076	2,293	12	2,306	△2,306	—
計	37,675	4,646	3,500	16,967	62,789	688	63,478	△2,306	61,171
セグメント利益	7,323	319	528	2,857	11,028	65	11,093	199	11,292

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、ブラジル等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカ等の現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益の調整額199百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。